

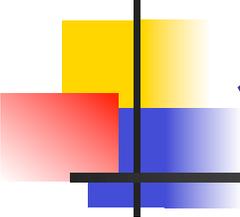
# 言語とジェンダー:

## クリティカル・ディスコース(批判的談話)分析6

---

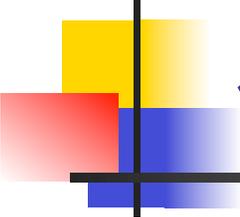
サンフランシスコ州立大学／国立国語研究所

南 雅彦



# 役割語

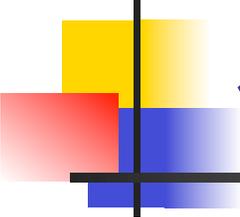
- いかにもある特定の職業、もしくはタイプの人が話しているのだろうということが想像でき、読者に共通認識が生まれる「特定の人物像に与えられた」言葉遣い。
  - たとえば、地域方言を効果的に取り込んだ役割語はいかにもその人が話しているのだろうということが想像でき、その人(話し手)の社会的属性に関して、読者に共通認識が生まれるという社会方言としての効果がある。
  - 言語変異としての地域方言に対して抱かれている**ステレオタイプのイメージ**が、社会方言として読者の中に具体的に喚起される。
  - しかし、役割語がそうした言葉遣いをする話者の職業・社会的地位などを想像するのに役立つ反面、**ステレオタイプ**を助長する効果があることも否定できない。



# 役割語

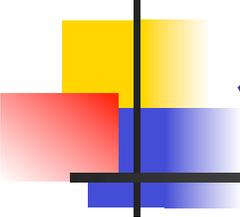
---

- 金水敏『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』(2003)
  - 「そうアルヨ、さっさと帰るヨロシ」のような、外国人(特に中国人)が用いると考えられている、訛った話し方を「アルヨことば」と名付け、横浜居留地で行われていた、**ピジン化された日本語**を起源としているという見方を示した。
  - 一般に、明治時代の資料に見られるこの手の**ピジン日本語**の話し手は、おおむね西洋人。
  - それが、いつごろ中国人に限定されるようになったか、という点が、役割語の形成史としては大きな問題。



# 役割語

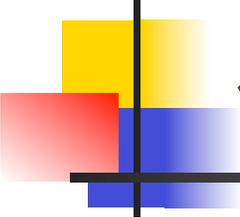
- 江國 香織(1996)「デューク」(pp. 13-19)『つめたいよるに』 新潮社.  
彼が指さしたのは、プールだった。  
「じょうだんじゃないわ。この寒いのに」  
「温水だから平気だよ」  
「水着持ってないもの」 ← 名詞化  
「買えばいい」自慢ではないけれど、私は泳げない。  
「いやよ、プールなんて」  
「泳げないの」 (p. 15)



# 役割語

---

- テレビ番組から(女性専用の終助詞)
- 『おひとりさま』TBS系列 2009年10月16日～12月18日  
東京都内で名門の女子高等学校に教師として勤務する秋山里美(観月ありさ)は33歳で独身、何でもやる事なす事一人でやることから“おひとりさま”と呼ばれている。

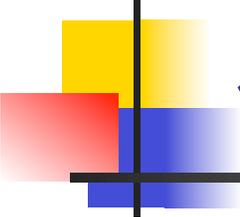


# 役割語

- テレビ番組から(女性専用の終助詞)

「紫式部は『源氏物語』という世界で最初の小説を書いた**の**。家庭におさまるだけじゃなく、自分の能力を最大限に発揮する女性はこんなに昔からいた**のね**。余談ですけど、専業主婦というのは戦後の高度経済成長の中で確立されたもので、日本の歴史の中で割と最近のこと**なの**。だから『女は家庭に入るものだ』などというのは伝統でもなんでもない**のよ**。ま、最近の男は頼りないから、女がしっかりしないとだめ**ね**。」(第1話)

「平等院鳳凰堂があります。この中に、この阿弥陀如来像がおさめられている**のね**。」(第2話)



# 役割語

---

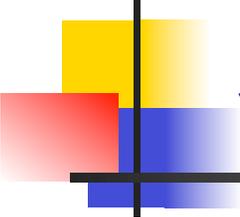
- テレビ番組から(女性専用の終助詞)
- 『氷の華』天野節子による日本の小説及び、本作を原作としたテレビドラマ。テレビ朝日2008年9月6日・7日放送

瀬野病院理事長でピアニストでもある 瀬野恭子(米倉涼子)がピアノリサイタル会場に入ってきた警視庁捜査一課警部の戸田克巳(舘ひろし)を見つめながら「一生賭けた勝負になりますわね、戸田警部。でも、私はぜったい負けなくてよ」

- 『氷の華』天野節子による日本の小説及び、本作を原作としたテレビドラマ。テレビ朝日2008年9月6日・7日放送

瀬野病院理事長でピアニストでもある 瀬野恭子(米倉涼子)がピアノリサイタル会場に入ってきた警視庁捜査一課警部の戸田克巳(舘ひろし)を見つめながら「一生賭けた勝負になりますわね、戸田警部。でも、私はぜったい負けなくてよ」

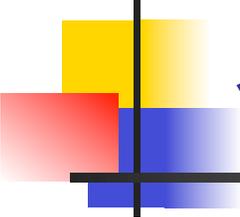
- 『氷の華』天野節子による日本の小説及び、本作を原作としたテレビドラマ。テレビ朝日2008年9月6日・7日放送
  - これらの発話に出現する終助詞「の」「わ」や「よ」は、脚本家が話者が女性であることを強く表現するために選択した助詞だと考えることができる。また、このドラマを見る者も、こうした終助詞の使用から、この話者が女性なのだと強く認識する。
  - しかし『氷の華』では、「女らしさ」=「弱さ」という役割の枠組みで捉えられる機能ではない。
  - 断定を和らげる働きをするものではなく、むしろ主張度の強い場面や、強気な態度、相手を見下した態度、つまり、お嬢様キャラ・女王キャラを表す意図で用いられている。



# 有標化

---

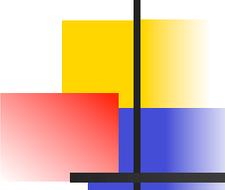
- **marked**(職業のプロトタイプからの乖離)
  - 仕事ができないと「女だから」と言われて、仕事ができれば「女のくせに」ですから(Anego)。
- 土曜ワイド劇場／木曜ミステリーのタイトル
  - 『**女**弁護士 朝吹里矢子』 原作:夏樹静子、主演:十朱幸代→財前直見
  - 『**おばはん**刑事!流石姫子』 主演:中村玉緒
  - 『警視庁**女性**捜査班⇒新・警視庁**女性**捜査班』 主演:萬田久子
  - 『変装**婦**警の殺人事件簿』 主演:片平なぎさ
  - 『☆**女**変装捜査官⇒変装捜査官・麻生ゆき』 主演:片平なぎさ
  - 『**女**刑事ふたり』 主演:石田ひかり、伊藤蘭
  - 『**女**刑事みずき』 主演:浅野ゆう子



# 翻訳に見る役割語

仮想現実

- 【MLB】R.ウルフ、地区シリーズの不調から復活勝利
  - 「俺はそのときのことが大きな胸のつかえとなっていた」  
(ISM 2011年10月14日)
- 【MLB】力投で望みつないだJ.バーランダー、「この試合は決闘だった」
  - 「俺はいくらでも投げるよ。それで後の試合につなげていきたい。この試合は俺にとって“決闘”だった」(ISM 2011年10月14日)



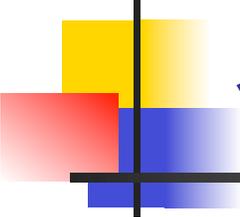
# 翻訳に見る役割語

- タイガース、サヨナラで計35安打の打撃戦を制し3連勝  
MLB 2012年4月9日
- 4時間45分におよぶ激闘に終止符を打つ決勝弾を放ったアビラは、「今まで俺がプレーしてきた中で最も興奮した試合の1つだ」とコメント。
- また、タイガースのジム・リーランド監督は、「今日、我々の投手陣の出来は良くなかったが、運良く相手の投手陣も同じだった」と振り返った。
- ミゲル・カブレラ三塁手は、「俺たちは試合を諦めない」と述べている。
- 一方、決勝ホームランを打たれたレッドソックスのマーク・メランコン投手は、「今日の俺たちは勝つ必要があり、それは俺の投球にかかっていた」「俺はこれからも攻めの投球を続け、今日の敗戦の影響が出ないようにしないとイケない」と悔やんでいる。
- いきなりの3連敗となったレッドソックスだが、...ダスティン・ペドロイア二塁手は、「まだ159試合ある。ここから10連勝すれば10勝3敗となり、みんなが俺たちは好スタートを切ったと言うだろう」と深刻に捉える必要はないとみている。

# 翻訳に見る役割語

仮想現実

- 【NFL】「天使が舞い降りた」、**“MHK”**に捧げる勝利  
(2012年1月22日)
- ニューイングランド・ペイトリオッツは今季、左胸に「MHK」のワッペンを付けて戦ってきた。これは今シーズン前のロックアウト中に死去したオーナー夫人、マイラ・クラフトさんのイニシャルだ。  
現地22日のカンファレンス・チャンピオンシップでは、ペイトリオッツは相手の同点FGが土壇場で外れるという劇的な勝利。この幕切れにラインバッカー (LB) ジェロッド・メイヨは「天使が俺たちのところに舞い降りた」と地元紙にコメント。ロバート・クラフト・オーナーも「妻が私たちに笑いかけてくれたんだと思う。今日は彼女も本当にハッピーだと思う。最後のキック(失敗)は神に感謝だ」と亡き妻をしのんでいた。



# 翻訳に見る役割語

- 来季F1に女性ドライバーお目見えの可能性(TopNews 2011年 10月21日)  
スペイン出身のデ・ビロタは8月、ポール・リカルド・サーキットで2009年型のルノーF1をテスト。(中略) スペインの通信社『Europa Press(エウロパ・プレス)』に対してデ・ビロタは、2012年のF1シート獲得に「近づきつつある」として、次のように話した。

「8月に行ったテストは大成功だった。さらに可能性が膨らんだわ」

デ・ビロタによると、直近の目標は「2012年にF1へステップアップすること」だという。元F1ドライバーのエミリオ・デ・ビロタを父に持つデ・ビロタ。今年参戦したスーパーリーグ・フォーミュラで、元F1ドライバーのアントニオ・ピッツォニアやエンリケ・ベルノルディを相手にして、参戦の手応えをつかんだのだという。

「彼らをととても尊敬しているけれど、私にそんな色があるとは思わない。体力的にもっと努力を重ねなければいけないのは分かっている。でもスポーツ選手として、ひとりのドライバーとして、適切なトレーニングを行って必要な経験を身に付ければ、十分にやれると感じているの」

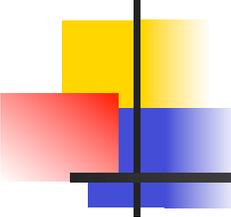
女性ドライバーのマリア・デ・ビロタ「F1でやっていける」(2011年8月20日Top news)  
先日ひそかにF1テストへ参加していたことが報じられていた女性ドライバー、マリア・デ・ビロタのマネジメント側が、F1でのシートを確保するために動いているようだ。(中略)  
デ・ビロタも次のようにコメントしている。

「F1に参加することは私の夢でした。そして今回のテストを終え、自分はF1マシンを運転できる、F1でやっていける、という確信はさらに強くなりました」  
「ドライバーとして、今の私は体力的にベストな状態です。それを生かしたいです。(シート獲得に向けて)努力していますが、これは一晩でかなうものではありません。でも早いうちに実現したいと思います」

「8月に行ったテストは大成功だった。さらに可能性が膨らんだわ」

デ・ビロタによると、直近の目標は「2012年にF1へステップアップすること」だという。元F1ドライバーのエミリオ・デ・ビロタを父に持つデ・ビロタ。今年参戦したスーパーリーグ・フォーミュラで、元F1ドライバーのアントニオ・ピッツォニアやエンリケ・ベルノルディを相手にして、参戦の手応えをつかんだのだという。

「彼らをととても尊敬しているけれど、私にそんな色があるとは思わない。体力的にもっと努力を重ねなければいけないのは分かっている。でもスポーツ選手として、ひとりのドライバーとして、適切なトレーニングを行って必要な経験を身に付ければ、十分にやれると感じているの」



# 翻訳に見る役割語

- ウサイン・ボルトの“I”は、なぜ「オレ」と訳されるのか—スポーツ放送の「役割語」(太田真希恵)
  - 「**オレ**がナンバー1**だ**」(陸上男子ウサイン・ボルト選手)
  - 「**僕**には強い競争心が**あります**」(水泳マイケル・フェルペス選手)
  - 「記録を出す秘訣なんてない**わ**」  
(「棒高跳びの女王」エレナ・イシンバエワ選手)
  - 「**オレ**は日本の選手を倒すマシンになる**んだ**」(柔道フランスのテディ・リネール選手)：柔道は6歳から始める。あまりの悪童ぶりに手を焼いた両親がしつけの一環でクラブに送り込んだのがきっかけとなる。2メートル04、130キロの恵まれた体から繰り出す豪快な柔道で、2007年世界選手権で井上康生を強烈な返し技で破るなど快進撃を遂げ、北京オリンピックでの石井慧選手の最大のライバル。
  - 「レースごとに調子が上が**っている**。**オレ**は強い**んだ**。気分が**いいぜ**」  
(水泳アレクサンドル・ダーレオーエン選手[ノルウエー])：北島康介のライバル。

「男らしさ」=「強さ」という記号の付加？

ウサイン・ボルト → オレ  
濃いキャラクター性・攻撃性

## 役割語

- ウサイン・ボルトの「I」は、なぜ「オレ」と訳されるのか—スポーツ放送の「役割語」  
(太田真)

- 「オレがナンバー1だ」(陸上男子ウサイン・ボルト選手)
- 「僕には強い競争心があります」(水泳マイケル・フェルペス選手)
- 「記録を出す秘訣なんてないわ」  
(「棒高跳びの女王」エレナ・イバエワ選手)
- 「オレは日本の選手を倒すために来たんだ」(柔道フランスのテディ・リネール)  
両親がしつけの一環でクラブに送り、2007年  
北京オリンピックでの石井慧選手の最大のライバル。
- 「レースごとに調子が上がっている。オレは強いんだ。気分がいいぜ」  
(水泳アレクサンドル・ダーレオーエン選手[ノルウエー]): 北島康介のライバル。

「女性らしさ」=「優しさ・和らぎ」という記号の付加？

# 翻訳に見る役割語

- ウサイン・ボルトの“I”は  
(太田真希恵)

女性役割語:「弱さ」とは限らず、「**自信・誇り・余裕**」などの記号として付加される場合もある。

- 「**オレ**がナンバー1だ」(陸上男子100mウサイン・ボルト)
- 「**僕**には強い競争心が**あります**」(水泳マイケル・フェルペス選手)
- 「記録を出す秘訣なんてないわ」  
(「棒高跳びの女王」エレナ・イシンバエワ選手)
- 「**オレ**は日本の選手を倒すマシンになるんだ」(柔道フランスのテディ・リネール選手): 柔道は6歳から始める。あまりの悪童ぶりに手を焼いた両親がしつけの一環でクラブに送り込んだのがきっかけとなる。2メートル04、130キロの恵まれた体から繰り出す豪快な柔道で、2007年世界選手権で井上康生を強烈な返し技で破るなど快進撃を遂げ、北京オリンピックでの石井慧選手の最大のライバル。
- 「レースごとに調子が上がっている。**オレ**は強いんだ。気分がいいぜ」  
(水泳アレクサンドル・ダーレオーエン選手[ノルウエー]): 北島康介のライバル。

**男性役割語**:ヒーローを倒そうとして挑んでくる外国人ライバル選手には「**攻撃性**」を強調する記号としての**男性役割語**が使用される(ライバルキャラ)。

## 語

語:「弱さ」とは限らず、「**自信**」などの記号として付加される場合もある。

- 「**僕**には **争心があります**」(水泳マイケル・フェルペス選手)
- 「記録を **破**なんてないわ」  
(「棒高跳び女王」エレナ・イシンバエワ選手)
- 「**オレ**は日本の選手を倒すマシンになるんだ」(柔道フランスのテディ・リネール選手):柔道は6歳から始める。あまりの悪童ぶりに手を焼いた両親がしつけの一環でクラブに送り込んだのがきっかけとなる。2メートル04、130キロの恵まれた体から繰り出す豪快な柔道で、2007年世界選手権で井上康生を強烈な返し技で破るなど快進撃を遂げ、北京オリンピックでの石井慧選手の最大のライバル。
- 「レースごとに調子が上がっている。**オレ**は強いんだ。気分がいいぜ」  
(水泳アレクサンドル・ダーレオーエン選手[ノルウエー]): 北島康介のライバル。

# 翻訳に見る役割語

- ウサイン・ボルトの“I”は、なぜ「オレ」と訳されるのか—スポーツ放送の「役割語」(太田真希恵)
  - 「**オレ**がナンバー1**だ**」(陸上男子ウサイン・ボルト選手)
  - 「**僕**には強い競争心が**あります**」(水泳マイケル・フェルペス選手)

- 「です・ます」体は、落ち着いている、困難や苦難をその背景に持つなど、一生懸命努力している、真摯に物事に向き合う姿勢を表現しているのではないか。
- しかし、状況や場面も考慮しなければならない(インタビュアーが、たとえば、試合直後の興奮した状況なのかどうか。そういう場面ならフェルペスも「ボク」ではないかもしれない。)

# 役割語(地域方言 社会方言)

そうよ、 <b>あたし</b> が知ってる <b>わ</b>	女の子・女性
そうじゃ、 <b>わし</b> が知っておる	男性の老人 老博士
そや、 <b>わて</b> が知 <b>とる</b> でえ	大阪人(関西人)
そうじゃ、 <b>拙者</b> が存じて <b>おる</b>	武士
そうです <b>わよ</b> 、 <b>わたくし</b> が存じて <b>おりますわ</b>	奥様・お嬢様
そう <b>あるよ</b> 、わたし知ってる <b>あるよ</b>	(ニセ)中国人
そうだよ、 <b>ぼく</b> が知ってるの <b>さ</b>	男の子 (比較的若い男性)
んだ、 <b>おら</b> 知ってる <b>だ</b>	田舎者

# 役割語 (地域方言 社会 言語)

- フィクションの制作者による人物像の表現という意味合いを持つ。
- そこにステレオタイプが反映されていることもある。

そうよ、 <b>あたし</b> が知ってるわ	女の子・女性
そうじゃ、 <b>わし</b> が知っておる	男性の老人 老博士
そや、 <b>わて</b> が知っとるでえ	大阪人(関西人)
そうじゃ、拙者が存じて <b>おる</b>	武士
そうです <b>わよ</b> 、わたくしが存じて <b>おりますわ</b>	奥様・お嬢様
そう <b>あるよ</b> 、わたし知ってる <b>あるよ</b>	(ニセ)中国人
そうだよ、 <b>ぼく</b> が知ってるのさ	男の子 (比較的若い男性)
んだ、 <b>おら</b> 知ってるだ	田舎者

女性語

博士語  
= 老人語

方言

女性語

アルヨ  
ことば

方言